



創立記念日にあたって

宮城県宮城第一高等学校

1 開校からの歩み

本校は、明治30年（1897年）4月12日、今から126年前に「仙台市高等女学校」として仙台市東二番丁の地に開校しました。明治33年4月に宮城県に移管され「宮城県高等女学校」と改称し、その後も幾度か改称し校地の移転も行いました。昭和23年4月には学制改革により「宮城県第一女子高等学校」と改称し、昭和28年7月25日に北六番丁から八幡一丁目（旧中島丁）の現在地に移転しました。

平成9年度には創立100周年を迎えるとともに、普通科に加えて新たに理数科を設置し、平成14年度から4年間は文部科学省からスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の指定を受けました。平成20年4月より男女共学となり、「宮城県宮城第一高等学校」に改称するとともに、進学重視型単位制高等学校となりました。SSHなどの経験を生かし、自他や真理を尊ぶ精神の昂揚などを目指して国際教育や高大連携に力を入れており、姉妹校である英国シティ・オブ・ロンドン・フリーメンズスクールや研修旅行先の台湾台南第一高級中学、オーストラリア・シドニーのエッピング・ボーイズ・ハイスクールとの対面あるいはオンラインでの交流や、大学教授や著名な社会人を招聘した講演会の開催などを積極的に行ってきました。

令和4年4月の学科改編により、理数科2学級が「国際探究科・理数探究科」2学級となりました。これまでの理数科の蓄積と国際交流などを生かし、高度な探究活動に取り組む学科を設置し、この1年間、高度な探究活動を取り入れた教育活動を行ってきました。

令和5年度、開校126周年を迎え、この3月で33,519名（高等学校としては25,896名）の卒業生を輩出し、海外も含め社会の様々な分野で皆さんの先輩が活躍しています。著名な卒業生としては、ハリ・ポッターシリーズを翻訳した松岡佑子氏、東大名誉教授で中部大学特任教授の黒田玲子氏、最高裁判所判事の渡邊恵理子氏、第41回猿橋賞（2021年）を受賞した東京工業大学教授の田中幹子氏などです。

2 宮城第一高等学校の今

4月10日に第78回入学式を挙行了しました。今年度、1・2年次普通科5学級と国際探究科・理数探究科2学級で計7学級、3年次普通科5学級と理数科2学級で計7学級、全年次あわせて21学級832名の在籍となりました。ここ数年ICTの利活用が進み、生徒の皆さんは、タブレット端末を学校生活の様々な場面で活用しています。また、本校は地域との連携を進めており、学校が所在する八幡町商店街との連携を深め、令和5年1月には七十七銀行八幡町支店の前面に、本校書道部の作品を展示しました。

3 未来へ

現在、令和5年（2023年）の供用をめざして校舎・体育館の改築工事が行われています。これに伴い、令和2年8月から仮設校舎での生活を送ってきましたが、新校舎の完成を心待ちにしております。

創立記念日にあたり、これまでの歴史と伝統に思いを馳せるとともに、未来に向けて各自の志を再確認しましょう。



仮設校舎（令和2年8月から使用）